

三匹のさる（関宮町三宅）

（注この話は、節をつけて語るのが特徴）

さるが三匹通って
あとのさるも 物の知らず
さきのさるも 物の知らず
まんなかのさるが、ちいっと物を知って
ナマズ川へ 飛び込んで
ナマズ一匹とらまえて
あんよで 取るのもかわいいし、
おててで 取るのもかわいいし、
杓子の裏で しゅっとすくって
とうしみ（とうしん）で くくって
線香で になって（かついで）
堂の隅へ持ってって
あんよで切るも かわいいし、
おててで切るも かわいいし、
とうとう おててで切って
きっしょん、きっしょん、きざんで
〇〇にも ひときれ
××にも ひときれ
△△にも ひときれ しよったら、
□□の分が、なあなって、
油屋へ油買いに行って、
油屋のかどで、油一升こぼえて
あけえ（赤い）犬が来ては ペロペロ
しれえ（白い）犬が来ては ペロペロ
くれえ（黒い）犬が来ては ペロペロ
この犬 にくいやつ 殺してしもて
その犬の皮を 太鼓に張って
あっちい向いちゃ ドンドコドン
こっちい向いちゃ ドンドコドン
ちいちい 破ってしもた
その犬 見しゃれ（見せろ） 殺してしもた
その皮あ見しゃれ 太鼓に張った
その太鼓見しゃれ 火にくべてしもた
その火い見しゃれ 灰になってしもた
その灰 見しゃれ 麦にふってしもた
その麦 見しゃれ カラスが食ってしもた
そのカラス 見しゃれ
京や大阪の方へ パアーツとたってしもた

（池田いさ子 外談）